令和７年第２回登米市議会定例会　６月定期議会
代　表　質　問　一　覧　表

質問順位	会派名 議員名	質問事項	質問の相手
１番	新・立志の会 ２２番 岩　淵　正　宏	所信表明について	市長
２番	大地の会 １７番 佐々木　幸　一	１．（仮称）地域交流センター整備構想について ２．病院事業について	市長
３番	ウィズToMe ６番 遠　藤　真理子	所信表明について	市長
４番	太陽の会 １８番 氏　家　英　人	（１）所信表明から問う （２）人事、職員のモチベーションについて	市長
５番	日本共産党市議団 ８番 鈴　木　　実	所信表明について伺う	市長 教育長

受付番号 No.5

令和７年第２回登米市議会定例会　６月定期議会

会派名【新・立志の会　】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第64条の２第２項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 ７ 年　６月１１日

登米市議会議長　様

質問者　２２番議員　　岩淵正宏

質問事項		質問の相手	
	所信表明について		市長

質問要旨

まずは感想から。登米市民は、若い新市長に大きな期待を寄せていたのではないか。今回の所信表明からは、２０年の歩みを巻き戻すだけで、どのようなまちづくりを目指すのか、将来ビジョンが読み取れない内容であった。登米市発展のため何をしたいのか、そのためにどう課題を解決していくのか、そのための財源手当ては、など、市民が聞きたいことが入っていない、「あんこの入っていないあんパン」のような所信表明と感じた。

そこで、以下の点について質問する。

・市政運営における基本姿勢で、「市民皆様の意向を把握し、（中略）まちづくりを進める」としているが、先の市長選での結果では、（仮称）地域交流センター事業推進派候補２名の得票数が建設白紙撤回を公約とした候補者２名の得票数を上回っている。「民意」というものをどのように受け止めているのか。

・議会の当初予算の議決及び特別委員会の調査報告は、市長から見て、無視しても構わないという認識か。議会の決定は民意とは別物と捉えているのか。

・市長は建設事業費約１４８億円を借金であると述べているが、交付税措置される分や国からの交付金等を差し引いた、実質負担の額を市民に正しく説明されたか。
（議員当時は、特別委員会委員であったので詳しく知りえていたはず）

・公共施設整備について、「未来に大きな財政負担を残さないように配慮した整備が重要」と語られている。今回の所信では、合併特例債の活用を「あくまでも借金であり、将来において大きな負担になる」と述べているが、本庁舎機能で既存庁舎を活用する場合は、どれだけの財政負担が軽減されるのか。

・そもそも、合併協定においては、現在の分庁舎方式は「当分の間」とし、本庁舎は新市において検討することとされた。市民の安心安全を第一優先に広域４事業整備から着手した。その際も大きな財政負担を残さないため合併特例債と国の交付金を活用して現在に至っている。この時の判断こそ、未来の財政負担を最小限に抑えた施策だったと認識しているが、市長の受け止めは、合併特例債を借金とするならば、２０年経過した今、大きな負担となっているのか。誤った政策だったと判断とするのか。

※　質問要旨は具体的に書いてください。

受付番号 No.5

質問要旨	・登米市建設計画では、「中心市街地は市民交流施設に行政機能を附帯させた多機能型複合施設の整備を進め、中心市街地の活性化に取り組む」とし、さらに第二次総合計画においては佐沼地区、加賀野地区、南方地域北東部の商業が集積している地域を本市の中心市街地と位置づけ、公共施設の多機能化や複合化等に取組むとしている。これら諸計画を無視した市政運営は許されるものではない。さらに、社会資本整備総合交付金については、今後、立地適正化計画策定自治体に対し、重点配分することが国において示された。 　立地適正化計画を無視したような、所信表明である。こうした交付金が受けられなくなるのではないかと危惧するが、市長の示した重点政策で、交付金は受けられるのか。仮に受けられない場合は市の持ち出しになり、財政調整基金の大幅減や一般財源に悪影響を及ぼす心配がある。その際の対応と責任の所在をどのように考えているか。 ・市長は就任後、選挙公約を盾に、市長自身が議員在職中に議決された当初予算にもかかわらず、図書館や公民館整備に係る、都市構造再編集中支援事業補助金、約２１億円の事業申請を議会全員協議会や議会に説明もなしに、独断で見送っている。約２１億円もの損失を市に与えたことは極めて重大な問題であり、議会軽視も甚だしい。所信表明の「結び」には、「職員と一丸となり、知恵を出し合い、市民、議員各位の知恵も借りながら、新しい登米市を築いていく所存である」と述べている。「口から出まかせ」と言わざるを得ないが、市長の本心は。 ・病院事業については、これまでも県の地域医療構想との整合性を図りながら、病床数のダウンサイジングや機能分化などで現在に至っている。そして現在、市長も議員当時、教育民生常任委員会に所属していたのでわかっていると思うが、「登米市民病院整備検討委員会」が設置されており、本年度中に整備基本方針が出される予定であり、病院事業中長期計画の３４ページにも経営形態の見直しの検討も示されている。それを確認すること無く、所信表明で調査検討を行い８年度中に方向性を示すと述べている。なぜ、同じことを繰返すのか、まったく理解できないが説明を求める。 ・産婦人科や小児科などの、医療施設招致に向け、誰が、どのような働きかけ、行動を行うのか。 ・一般会計からの繰り出し金が毎年度 20 億円を超していると述べている。その通りであるが、これも市民に不安を与える数字を出したものと思う。市民に説明するのであれば、交付税措置とされる基準内繰出は除き、基準外でどれだけ繰り出して地域医療を存続しているか、正確に情報提供すべきと思うが。そのことにより、市立病院への理解も高まるのではないか。 　また、学校再編について、適時・適切で積極的な情報発信を行うと述べているので、病院事業関係ほか、起債と交付税のプラス・マイナスも含め、発信の際は、自分の考えに寄せるのではなく、情報提供をすると約束してほしい。いかがか。 ・民営化に向けた取り組みについては、もろ刃の剣である。民間は利益が出なければすぐ撤退するのではと思う。市立病院に勤務する医師、看護師の雇用条件や処遇も十分検討しなければならないと考える。財政面はもちろんであるが、登米市単独で進めるのではなく、県の地域医療構想と整合性を図り、十分な調査・検討体制を構築すべきと考えるが。

※　質問要旨は具体的に書いてください。

受付番号 No.1

令和７年第２回登米市議会定例会　６月定期議会

会派名【　大地の会　】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第 64 条の２第２項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 ７ 年　６　月　１０　日

登米市議会議長　様

質問者　１７　番　佐々木　幸一

質問事項		質問の相手	
	１．（仮称）地域交流センター整備構想について		市長
	２．病院事業について		市長

質問要旨	
	１．（仮称）地域交流センター整備構想について
	①市長就任後、報道機関に対し、早々に白紙撤回を表明したが、６月定期議会への議案上程までの間に行動又は実施したことはなにか。
	②議決した予算を執行停止状態にしているのは、議会軽視ではないか。
	③既存施設の活用が最優先として、当初は中田・南方庁舎の調査費用を計上するとしていたものが、今回の調査費は５つの既存施設の利活用との説明である。その経緯と理由は。
	④具体的な庁舎構想はどうなるのか。
	⑤公約の内容は、まちづくりの方向性を定める「登米市総合計画」「登米市建設計画」「登米市都市計画マスタープラン」「登米市立地適正化計画」などと相反することになる。これまでの議論を全部否定するもので、関連する各種計画の変更を行ってから対応すべきではないか。
	⑥公約で 148 億円の新しい庁舎は将来大きな負担となるとしているが、既存庁舎を活用する場合、また本庁機能を分散することが逆に将来負担を増すことは明白と思うがどう考えているのか。
	⑦公約を実施することで、財政計画、財政調整基金残高の見通しはどうなるのか。
	⑧（仮称）地域交流センターの基本理念は「未来へつむぐ、ひと・地域・文化の交流拠点」である。次世代のこどもたちをはじめとした市民のためにも、公約を撤回し、建設を進めるべきではないか。
	２．病院事業について
	①累積欠損金と病院経営の赤字をどうとらえているのか。
	②市民病院の建て替えが医療不安解消、赤字経営体質の解消にどうつながるのか。
	③市民病院の建設はどのような方法で進めるのか。また、財源の手当てはどうするのか。
	④３つの市立病院の再編方向と民営化の課題をどう考えるのか

※　質問要旨は具体的に書いてください。

受付番号 No.3

令和７年第２回登米市議会定例会　６月定期議会

会派名【　ウィズＴｏＭｅ　　】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第 64 条の２第２項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 ７ 年　６月　１０日

登米市議会議長　様

質問者　６　番議員　　遠藤　真理子

質問事項	所信表明について	質問の相手	市長

質問要旨

１．（仮称）地域交流センター整備構想について

（仮称）地域交流センター整備構想の白紙撤回については、これまでの議決、各種計画、そして国・県との連携のあり方を根本から見直す内容であると受け止めております。

議会は合併後、法定計画に基づくまちづくり、国の交付金制度も活用した財政的に有効で費用対効果の高い市政運営を目指して、真摯な議論を積み重ねてまいりました。

そうした議会の意思決定と整合しない形での政策転換に対して、以下の通り、市長の考えを伺います。

（１）（仮称）地域交流センター整備構想の白紙撤回に関し、議会がこれまで議決してきた政策や計画との整合性をどのようにお考えか伺います。

また、議会制民主主義、つまり二元代表制のもとで、首長と議会がそれぞれ民意の代表として意思決定に責任を負う体制において、議会を経ずに政策の根本を覆す行為は、制度上・政治的にどのように正当化されるのか見解を伺います。

（２）この事業は、登米市総合計画、都市計画マスタープラン、登米市公共施設等総合管理計画、さらには立地適正化計画にも位置づけられており、本市の将来構想における一つの拠点として整合を図り進められてきたものと認識しています。

市長が、この計画を撤回するに至ったのは、各計画との整合が損なわれたと判断したからか、さらに、なぜ「白紙撤回」が市民の利益に資すると判断されたのか、そのロジックと、事前に市民や議会への説明を行わなかったことについて、具体的な根拠と理由をお示しください。

※　質問要旨は具体的に書いてください。

受付番号 No.3

質問要旨	２．図書館整備について 新図書館整備に関する要望書が、複数の市民団体より市長宛てに提出され、同じ内容の請願書を議会でも受理いたしました。市として市民の意向をどのように捉え、反映させていくのか伺います。 ３．病院事業について 市長は赤字体質と表現している市立病院ですが、そもそも、何が原因と捉えているのか伺います。 また、産婦人科や助産院、小児科、救命救急などの医療施設の招致に要する費用をそれぞれどれくらいと見込み、人材や財源の確保をどのように行うのか伺います。

※　質問要旨は具体的に書いてください。

受付番号 No.2

令和７年第２回登米市議会定例会　６月定期議会

会派名【　太陽 の 会　】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第 64 条の２第２項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 7 年　6月　10 日

登米市議会議長　様

質問者　18　番議員　　氏家　英人

質問事項		質問の相手	
	(1) 所信表明から問う		市長
	(2) 人事、職員のモチベーションについて		

質問要旨

（１）所信表明から問う

①（仮称）地域交流センター整備構想について

（仮称）地域交流センター整備に要する約 148 億円の事業費について、合併特例債を活用（発行）することは将来負担が大きい。また、場所については迫町佐沼中江地区では大雨時における浸水被害が発生したとのことで、白紙撤回とするとした。さらに、本庁機能については迫町に置かず、中田庁舎と南方庁舎、そして登米庁舎と石越庁舎に移転させ、4 分庁舎方式としたいとのことである。そこで、以下について問う。

・本庁機能を既存の中田、南方、登米、石越庁舎に移転させる場合、各庁舎の改修費や引越し費用など相当な事業費を要すると考える。また、立地適正化計画とは相反する構想であるため合併特例債や国の補助金等も期待できないとも認識していることから、その構想に係る移転費用と財源内訳を示せ。
・老朽化している迫庁舎と迫公民館については支所機能と公民館機能を併せ持つ複合施設として佐沼中江地区以外の場所に整備するとのことだが、いつまでに、どの場所（市有地、新たな用地取得）を想定しているのか。また、財源内訳は。
・所信表明において、本庁機能については 4 分庁舎とする旨の表明だったが、6 月 6 日定例記者会見では市内 5 総合支所に分散させると述べている。また、図書館整備についても所信表明と市民団体からの要望書を受け取った後の取材での発言に乖離が見受けられる。なぜ、その場その場で考えが変わるのか。

②病院事業について

病院事業については登米市民病院を新築移転させることが優先であるとし、持続可能な市立病院の運営体制を構築するため、3 つの市立病院の再編と民営化に向けた調査・検討し令和 8 年度中に、その方向性を示すとのことだが、より具体的な内容について問う。

・登米市民病院を移転新築することで、なぜ、赤字の経営体質が解消されるといえるのか。
・3 つの市立病院の再編とは「市立病院はひとつにする」という意味か。また、民営化に向けたハードルは何だと考えているか。
・大崎市民病院や石巻赤十字病院への通院手段の公共交通とは何か。無料送迎バスなのか。

※　質問要旨は具体的に書いてください。

受付番号 No.2

質問要旨	③学校教育について ・現在の学校再編計画を見直し、小学校の再編よりも中学校の再編を優先させ、また、中高一貫校の設置も視野に入れる。そして、いじめや不登校などに対応するため「学びの多様化学校」の設置、更には本市独自で中学校の給食費の無償化まで表明しているが、飛躍し過ぎてはいないか。
	④産業の振興について ・産業振興については、農業分野にしか言及がない。商業に対する市長の想いは。また、観光についても言及がないが、観光は産業ではないと捉えているのか。
	⑤人口減への対策について ・人口減少対策として、市内産の農畜産物が食せる場所やオープンカフェの提供、また、新じゃがを活用した新たな事業展開を推進していくとのことだが、人口減少対策として、どのような効果が期待されるのかがわからない。具体的に示されたい。
	（２）人事、職員のモチベーションについて ⑥　令和７年６月 10 日付けで、丸山副市長が退任された。副市長選任にあたり、市長はどのような考えを持ち、どのような職務を期待しているのか。 ⑦　市長が変わり、まちづくりの方向性が大きく変わったが、人事も含め組織機構は変わっていない。市長は直面している本市の様々な課題にスピード感をもって対応し、そして登米市は新たなスタートを切ったのだと市民に実感していただけるよう職員と一丸となって知恵を出し合っていくというが、「掛け声」だけに留まっているのではないか。逆に職員はまちづくりの方向転換に戸惑い、モチベーションも下がっているように感じるがどう捉えているか。

※　質問要旨は具体的に書いてください。

受付番号 No.4

令和７年第２回登米市議会定例会　６月定期議会

会派名【日本共産党市議団】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第 64 条の２第２項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 7 年　6月　11 日

登米市議会議長　様

質問者　　８番議員　　鈴木　実

質問事項	質問の相手
所信表明について伺う	市長
	教育長

質問要旨

１．「市政運営における基本姿勢」から伺います。市長の「市民生活第一主義」とはどんなことを言うのか伺います。

２．「心身ともにゆとりと誇りを感じられ、夢のある登米市づくり」と「登米市が目指す、まちづくり」の関係を伺います。

３．重点政策として５つ挙げられておりますが、「まちづくり」に言及した項目がありませんでしたが、どのようにお考えか伺います。

４．「病院事業について」
病院の整備については、これまでの「新病院建設計画」を前倒しして進めることになるのか伺います。所信表明に「具体的なビジョンが示されていない」とありますが、「ビジョン」をどのように描き、示していくのか、現時点でのお考えを伺います。

５．「学校教育について」
新たに「中高一貫校設置を県に働きかける」とありますが、メリット・デメリットをどのように考えているのか、また、いつ頃を目標に進めようとしているのかを伺います。

６．「産業の振興について」
地域の担い手不足を解消する手立てとして、「本市独自」の取組みとありますが、具体的にどんなことを手掛けようとしているのか伺います。また、「新たな雇用の場の創出」とはどんなことか、お考えを伺います。

７．「人口減への対策について」
登米ブランドの PR において、市内産の畜産物を食せる場所、オープンカフェ、新じゃが活用の新事業は、直営を考えているのか伺います。

８．これからの行財政運営に言及されませんでした。どのようにお考えか伺います。

※　質問要旨は具体的に書いてください。